

令和3年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(株) 札幌リゾート開発公社	所管課	経済観光局観光・MICE推進課
基本財産	1,020,000千円	記入者	担当 菅 電話 011-211-2376
設立年月日	昭和48年(1973年)6月28日	本市出資額	200,000千円(出資割合 19.6%)
設立・出資目的	「札幌市長期総合計画」に基づき、昭和46年度から第1次5ヶ年計画として社会開発の推進のなか、環境破壊等から市民を守り豊かな市民生活を確立するため、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を目的として設立した。	出資年月日	昭和48年(1973年)12月4日
沿革		昭和48年	設立
		昭和51年	豊平峡電気自動車開業
		昭和53年	札幌国際スキー場開業
		昭和57年	ていねプール開業(札幌市受託業務)
		昭和60年	定山溪温泉スポーツ公園開業
		平成13年	札幌市藤野野外スポーツ交流施設索道部門(札幌市受託業務)
		令和2年	札幌市藤野野外スポーツ交流施設単独受託(札幌市受託業務)
代表者	代表取締役社長(常勤) 大谷内 則夫(市OB)		
主な出資者	① 札幌市 (19.6%) ② 日本政策投資銀行 (14.7%) ③ JTB (11.5%) ④ 日本トラスティ・サービス信託銀行 (5.8%) ⑤ ⑥		
団体所在地	〒061-2301 札幌市南区定山溪937番地先		電話 011-598-4511

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営(6ページ)	② 札幌国際スキー場事業(7ページ)
ていねプール(手稲稲積公園)の指定管理者として、プールの維持管理、安全確保に関する業務を行う。	定山溪地区観光振興の一環として札幌国際スキー場の管理運営を行う。
③ 豊平峡電気自動車・レストハウス事業(8ページ)	④ Fu'sスノーエリア索道・コースの管理(9ページ)
豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営、受託事業を通じて魅力ある場所の提供に努める。	指定管理者として藤野野外スポーツ交流施設の索道・コース管理業務を行う。令和2年4月から単独で指定管理者となり同施設の管理運営を行う。
⑤	⑥
(2) 総支出に占める事業支出割合	100.0% (主要事業支出合計 1,080,740千円 ÷ 総支出 1,080,740千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、札幌国際スキー場や豊平峡ダムの来場者数が前年度実績から大幅に減少したものの、地元客の誘客に向けて積極的に取り組むなど、定山溪地区の振興といった設立目的に寄与し、一定の効果が出ているところであるが、さらに効果を高める余地があると認識している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	地元客誘客に向けた取組により、札幌国際スキー場の2月以降の来場者は、コロナ前のシーズンを上回る実績を残すなど、出資・設立目的を達成するために必要な事業が実施されている。今後も、常に事業内容を検証の上、事業の拡充や改善を行うなど、売上やサービスの向上に努める必要がある。

3 団体職員・構成員等

令和3年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期	
役員					17	10歳代	0	40歳代	12	取締役	2年
常勤取締役	1	0	1	1		20歳代	4	50歳代	13	監査役	4年
常勤監査役	0	0	0	1		30歳代	6	60歳代	8	代表権のある役員 の就任年月	
非常勤取締役			11			平均年齢 49.3 歳				取締役	R1.8
非常勤監査役			2							監査役	R2.8
職員					116	職員総数の推移(人)					
常勤管理職	0	0	7	0		H31.4.1時点	114				
常勤一般職	0	0	36	0		R02.4.1時点	108				
非常勤職員			73								

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R1年度決算	R2年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	1,219,905	1,008,063 (100.0%) (▲ 211,842)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	1,208,383	977,623 (▲ 230,760)
			営業費用 (b)	1,118,018	1,080,740 (▲ 37,278)
			うち販売費・一般管理費 (c)	1,116,454	1,076,411 (106.8%) (▲ 40,043)
			うち人件費 (d)	385,600	389,073 (38.6%) (+3,473)
			営業利益 (e)	90,365	▲ 103,117 (▲ 193,482)
	営業外	営業外収益 (f)	11,522	30,440 (+18,918)	
		当期純利益 (g)	28,981	▲ 81,326 (▲ 110,307)	
	貸借対照表	資産 (h)	資産 (h)	2,635,927	2,446,497 (▲ 189,430)
			流動資産 (i)	737,231	656,694 (▲ 80,537)
			固定資産 (j)	1,898,696	1,789,803 (▲ 108,893)
		負債 (k)	負債 (k)	890,084	781,982 (▲ 108,102)
			流動負債 (l)	230,171	192,819 (▲ 37,352)
			固定負債 (m)	659,913	589,163 (▲ 70,750)
純資産 (n)			1,745,842	1,664,515 (▲ 81,327)	
		資本金 (o)	1,020,000	1,020,000 (0)	
	借入金残高 (p)	603,500	524,900 (▲ 78,600)		

R2年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a, f	新型コロナウイルス感染症の影響により、ていねプール事業は営業中止となり、札幌国際スキー場や豊平峡事業についても、修学旅行等の団体客の減少や、インバウンド需要の消滅等の要因により、入込数、売上高ともに前年を大幅に下回る結果となった。 また、藤野野外スポーツ交流施設は、単独の指定管理業務初年度であったが、サマーシーズンについては新型コロナウイルス感染症の影響によるBBQコーナーの閉鎖等の要因により厳しい船出となったものの、ウインターシーズンについては入込数、売上高ともに計画を上回る結果となった。 以上の結果、全体では経常収入は1,008,063千円（対前年比211,842千円減）となった。
e, g	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高が前年比230,760千円減となったことにより、営業利益は△103,117千円と前年比193,482千円の悪化となった。当期純利益は、ていねプールの損失対応分として市から11,557千円の経費補填があったことにより営業外収益が増加し、△81,326千円（前年比110,307千円減）となった。
h, k, p	資産 (h) については現預金が減少、負債 (k、p) は借入金返済を滞りなく行った結果減少した。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R1年度決算	R2年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	33,086	23,333	(▲ 9,753)
市業務委託料	13,473	11,884	(▲ 1,589)
うち随意契約	3,870	3,065	(▲ 805)
市指定管理費	19,613	11,449	(▲ 8,164)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R1年度	R2年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	725,842	644,515	(▲81,327)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	66.2%	68.0%	(+1.8%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	320.3%	340.6%	(+20.3%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	108.8%	107.5%	(▲1.2%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	22.9%	21.5%	(▲1.4%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当たり経常収益	10,701千円	9,334千円	(▲1,367千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	31.9%	39.8%	(+7.9%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当たり管理費	9,793千円	9,967千円	(+173千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	92.4%	110.1%	(+17.7%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.3%	0.3%	(▲0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	2.7%	2.3%	(▲0.4%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、売上が大きく減少した結果、剰余金が前年度より減少しているものの、依然として十分な内部留保が確保されていることや、自己資本比率や流動比率、固定比率など健全性を示す指標が安定していることから、経営状態は概ね健全であると判断される。 生産性については、人件費率や管理費率が前年度より増加しているが、新型コロナウイルスの影響により売上が大幅に減少したことによる一過性のものであると判断される。また、自立性については、市依存度が前年度と同水準となっており、自立性の高い状態が保たれていると判断される。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の総括評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況と集中取組期間の総括評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○出資団体としての在り方の検討							
①	市出資金	目標		200,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円
		実績	200,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円
②	出資団体としての在り方についての検討	目標		市の施策と団体の業務との関わり検討	出資団体としての在り方決定		
		実績	—	検討	決定		
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	経営状況については安定しつつあるものの、今後計画されている設備更新の実施時期等を考慮し、当面、出資を継続する。一方、定山溪地域との周遊性については改善の余地があることから、出資の目的や定山溪魅力アップ構想も踏まえて、今後もより一層定山溪地域の活性化に取り組んでいく必要がある。						

(2)人的関与

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○最低限の人的関与の継続							
①	市派遣職員数	目標		0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0
②	役員の就任数(取締役)	目標		1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	1
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	本市職員の役員就任を最小限の人的関与としており、引き続き継続する。						

(3) 団体の活用

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○札幌国際スキー場の利用者増							
①	来場者数	目標		248,000	248,000	266,000	266,000
		実績	245,274	242,747	252,485	264,849	272,517
②	売上高	目標		898,000千円	904,000千円	904,000千円	904,000千円
		実績	844,330千円	927,299千円	928,473千円	1,005,318千円	993,650千円
○総括評価							
		達成					
		【取組結果】					
評価	R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が大幅に減少したことから、目標値を下回っているものの、R元年度までは、来場者数、売上高ともに順調に目標を上回る実績を残していることから、期間全体の取組結果としては目標を達成できたものと評価できる。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○豊平峡ダムを活用した定山溪地区の観光振興							
①	豊平峡ダム来場者数	目標		79,000	80,000	80,000	80,000
		実績	73,259	78,515	86,758	78,520	84,933
②	定山溪温泉街との連携事業の実施数	目標		3事業	3事業	3事業	3事業
		実績	2事業	3事業	3事業	3事業	3事業
③	定山溪温泉街との連携事業（日帰り入浴パック）の利用者数	目標		2,200	2,200	2,300	2,300
		実績	2,083	2,950	2,985	3,402	3,044
○総括評価							
		達成					
		【取組結果】					
評価	R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が大幅に減少したことから、①と③の指標で目標値を下回ったものの、R元年度時点では目標値を上回っていたことから、期間全体の取組結果としては目標を達成できたものと評価できる。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○青少年のウィンタースポーツ振興							
①	スキー学習の受入者数	目標		23,500人 (45校)	23,500人 (45校)	23,500人 (45校)	23,500人 (45校)
		実績	23,388人 (44校)	23,542人 (41校)	21,425人 (46校)	23,511人 (45校)	23,801人 (43校)
②	子どもを対象としたイベントの参加者数	目標		1,600	1,600	1,600	1,600
		実績	1,556	1,787	2,190	1,962	1,673
○総括評価							
		達成					
		【取組結果】					
評価	R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、スキー学習の自粛を余儀なくされる学校が多数発生したことから、①の指標が目標値を下回ったものの、R元年度時点では目標値を上回っており、②の指標については、コロナ禍にもかかわらずR2年度の参加者数が大きく増加していることから、期間全体の取組結果としては、目標を達成できたものと評価できる。						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○業務効率化による経費の削減・営業戦略の見直し・拡充							
①	人件費	目標		353,000千円	363,000千円	352,000千円	352,000千円
		実績	352,749千円	366,873千円	361,083千円	385,477千円	385,600千円
②	物件費	目標		499,000千円	505,000千円	474,000千円	481,000千円
		実績	459,817千円	495,360千円	510,356千円	524,832千円	519,453千円
○総括評価							
		未達成					
		【取組結果】					
評価	人件費、物件費ともに目標を上回っているものの、売上高が増加傾向にあったなかで、人件費は同水準、物件費は減少傾向で推移してきたことから、経費抑制の取組は一定程度評価できる。						

事業評価 (1) ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営

1. 事業概要	事業所管課：建設局みどりの推進部みどりの管理課	担当：中村	電話：011-211-2536
(1)事業内容	(1)手稲稲積公園、維持管理及び運営 ・園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務		市指定管理費(公券) 10,408
(2)事業目的	レクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する		
(3)事業開始	昭和57年(1982年)7月		

2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		69,725 (5.7 %)	22,485 (2.2 %)	▲ 47,240
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	10,374	10,408	(+34)	
	市施設利用料金収入	43,779	0	▲ 43,779	
	自主事業収入(補助金除く)	15,096	0	▲ 15,096	
	その他収入	476	12,077	(+11,601)	
	費用(支出)	68,804	11,986	▲ 56,818	
	事業費	57,640	8,271	▲ 49,369	
	管理費等	11,164	3,715	▲ 7,449	
	収支差	921	10,499	(+9,578)	
	収支比率	101.34%	187.59%	(+86.26%)	
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	低年齢層(幼稚園・保育園)への営業活動	実施済			
②	小中学校の児童・生徒へのチラシ配布	実施済	営業中止	営業中止	営業中止
③	健康増進関連施設へのチラシ配布	実施済			
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	全プール利用者数(人)	75,500			
②	4歳以上中学生以下のプール利用者数(人)	47,240	営業中止	営業中止	営業中止
③	利用者満足度調査(大いに満足、満足の比率)	100.0%			
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度は営業中止とした。また、R3年度以降のコロナ収束の見通しも立たず、活動指標としている営業活動(利用促進)等の継続も困難であったことはやむを得ないと判断する。 今後は、R4年度以降の利用再開を見据え各施設の点検を実施するとともに、コロナ禍における感染対策を踏まえたイベント計画等について取り組んでいただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 営業中止に伴い利用料金収入及び自主事業収入が0円となるなど厳しい状況ではあるが、事業費を最低限に抑える努力により、収支については昨年度に比べ改善している。事業を実施していないことから良好との評価はできないが、営業再開後についても可能な限り支出の節約に努めていただきたい。

事業評価 (2) 札幌国際スキー場事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課	担当： 菅	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	(1)札幌国際スキー場事業 ・リフト・ゴンドラ運行 ・レストラン運営 ・各種スクール運営 ・用具のレンタル ・休憩施設の提供 ・コース整備 【市の関連事業名】 スノーリゾート推進事業		
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供すると共に定山溪地域に於ける振興策としてレクリエーション基地の開発を行う。		
(3)事業開始	昭和53年(1978年) 12月		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		1,016,363 (83.3 %)	717,136 (71.1 %)	▲ 299,227
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	1,006,600	700,911	▲ 305,689	
	その他収入	9,763	16,225	(+6,462)	
	費用(支出)	960,413	807,663	▲ 152,750	
	事業費	903,644	757,104	▲ 146,540	
	管理費等	56,769	50,559	▲ 6,210	
	収支差	55,950	▲ 90,527	▲ 146,477	
	収支比率	105.83%	88.79%	▲ 17.03%	
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	会員組織(くるとクラブ)の組織強化(会員数)	14,424	14,000	15,098	15,500
②	集中レッスンの実施(参加者数)	3,090	1,800	2,055	3,100
③	シニア振興DAYの継続実施(参加者数)	7,706	7,000	8,112	8,200
④	他スキー場との連携(シーズンネット会員数)	773	800	483	500
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	来場者数	272,517	200,000	198,171	206,511
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 新型コロナウイルス感染症の影響により、道外からの修学旅行やインバウンド需要が激減するなど、来場者数が大きく減少したものの、シーズン券の販売強化や市内6スキー場共同企画の実施などにより、地元客の誘客に積極的に取り組み、2月以降はコロナ以前を上回る来場者を確保したことは評価できる。 今後は、定山溪地区とも一層連携し、札幌観光の早期回復に寄与できるよう、国内客を中心に誘客に取り組むとともに、アフターコロナにおけるインバウンド回復を見据えた魅力向上にも取り組むことを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が大きく減少した結果、収支状況が悪化しており、R3年度もR2年度と同等の来場者見込みとなっていることから、可能な限りの経費節減に努め、収支の悪化を最小限に留めていただきたい。

事業評価 (3) 豊平峡電気自動車・レストハウス事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課	担当： 菅	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	(1)豊平峡電気自動車・レストハウス事業 ・豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営 ・受託事業として公園管理 【市の関連事業名】 定山溪地区魅力アップ事業		市委託料(随意契約) 2,980 市委託料(一般競争入札) 7,588
(2)事業目的	紅葉の名所として市民に親しまれている豊平峡において、豊平峡電気自動車・レストハウス事業を通じて市民の健康増進に寄与するとともに定山溪地区の観光振興を図る。		
(3)事業開始	昭和51年(1976年) 8月		

2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		57,222 (4.7 %)	36,512 (3.6 %)	▲ 20,710
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	12,362	10,804	▲ 1,558	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	42,872	24,479	▲ 18,393	
	その他収入	1,988	1,229	▲ 759	
	費用(支出)	55,396	41,122	▲ 14,274	
	事業費	40,945	31,188	▲ 9,757	
	管理費等	14,451	9,934	▲ 4,517	
	収支差	1,826	▲ 4,610	▲ 6,436	
	収支比率	103.30%	88.79%	▲ 14.51%	
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	デイケアサービス施設の来場促進	実施済	実施予定	実施済	実施予定
②	地元企業・団体等への販促	実施済	実施予定	実施済	実施予定
③	定山溪温泉、果樹園とのタイアップ設定	実施済	実施予定	実施済	実施予定
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	来場者数(豊平峡ダム・インバウンド含む)	85,963	81,350	47,959	52,190
②	インバウンド誘致(インバウンド来場者数)	14,492	9,550	0	0
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症の影響により、道外・海外からの団体客が激減するなど、来場者数は大きく減少したものの、地元利用の促進など、来場者の確保に取り組んだことは評価できる。 今後は、アフターコロナを見据え、定山溪温泉や近郊の観光施設等との連携を継続し、定山溪地区全体の観光振興の役割を継続して担っていくことを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が大きく減少した結果、収支状況が悪化しており、R3年度もR2年度と同等の来場者見込みとなっていることから、可能な限りの経費節減に努め、収支の悪化を最小限に留めていただきたい。

事業評価 (4) 藤野野外スポーツ交流施設の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 依岡	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	<p>○～R2年3月 藤野野外スポーツ交流施設（※）のリフト及び圧雪車の運行、保守管理</p> <p>○R2年4月～ 藤野野外スポーツ交流施設の管理運営</p> <p>（※）一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団と株式会社リゾート開発公社のコンソーシアム「Fu'sコンソーシアム札幌」として、藤野野外スポーツ交流施設の指定管理業務を受託。令和2年4月からは単独で指定管理者となった。</p> <p>【市の関連事業名】 藤野野外スポーツ交流施設リニューアル事業</p>		市指定管理費(公費) 18,127
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する。		
(3)事業開始	平成13年(2001年)12月		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		75,016 (6.1 %)	232,500 (23.1 %)	(+157,484)
市補助金・交付金・負担金		0	0	(0)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		18,127	119,272	(+101,145)	
市施設利用料金収入		29,043	69,941	(+40,898)	
自主事業収入(補助金除く)		0	40,579	(+40,579)	
その他収入		27,846	2,708	(▲ 25,138)	
費用(支出)		67,905	219,969	(+152,064)	
事業費		49,713	186,346	(+136,633)	
管理費等		18,192	33,623	(+15,431)	
収支差		7,111	12,531	(+5,420)	
収支比率		110.47%	105.70%	(▲ 4.78%)	
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	営業日数	49	121	98	121
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	リフト輸送人員数	337,707	621,000	759,384	621,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>令和2年度(2020/2021シーズン)については、積雪に恵まれず、12月20日に冬期の営業を開始したが、前年度は新型コロナウイルス感染症対策として施設を休館したことにより、営業日数及びリフト輸送人員数ともに昨年度実績を大きく上回る結果となった。 今後も鉄道事業法に基づく安全な索道運行を実施するとともに、施設の利用者増加に繋がるよう、一層のサービス向上及び施設のPR等に努めることを期待する。</p>
(2)収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>上記の理由による営業日数の増加により、利用料金収入が増加している。事業収支の黒字を維持しているため、今後も利用者ニーズを踏まえた更なるサービス向上等により、安定した経営を期待する。</p>

貸 借 対 照 表

令和3年5月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	656,694,286	流動負債	192,819,194
現金及び預金	599,234,038	1年以内返済予定の	
売掛金	4,262,737	長期借入金	78,600,000
商品	349,730	未払金	34,098,208
貯蔵品	1,143,044	未払法人税等	4,742,200
前払費用	17,025,275	未払事業所得税	8,098,800
立替金	2,239	未払消費税等	28,212,900
未収入金	23,991,285	未払費用	1,258,320
未収還付法人税等	10,684,338	預り金	17,321,221
仮払金	1,600	前受収益	5,200,295
		賞与引当金	7,608,000
		ポイント引当金	7,679,250
固定資産	1,789,803,664		
有形固定資産	(1,739,938,837)	固定負債	589,163,200
建物	813,605,501	長期借入金	446,300,000
構築物	233,629,604	退職給付引当金	88,863,200
機械装置	470,855,037	資産除去債務	54,000,000
車両運搬具	93,725,390		
工具・器具・備品	27,018,257		
土地	101,105,048		
無形固定資産	(18,986,974)		
電話加入権	1,412,402	負債合計	781,982,394
グレンデ整備費	5,583,600	(純資産の部)	
ソフトウェア	11,990,972	株主資本	1,664,515,556
投資その他の資産	(30,877,853)	資本金	1,020,000,000
投資有価証券	24,000,000	利益剰余金	644,515,556
出資金	20,000	利益準備金	45,078,000
長期貸付金	195,000	その他利益剰余金	599,437,556
差入保証金	6,120,274	別途積立金	218,000,000
役員退職積立金	73,600	配当平均積立金	60,000,000
その他投資	468,979	繰越利益剰余金	321,437,556
		純資産合計	1,664,515,556
資産合計	2,446,497,950	負債及び純資産合計	2,446,497,950

損 益 計 算 書

自 令和2年6月 1日

至 令和3年5月31日

(単位：円)

科 目	金 額	額
売上高		977,623,688
スキー場事業売上	700,911,117	
豊平峡事業売上	36,511,389	
ていねプール事業売上	10,408,182	
藤野事業売上	229,793,000	
売上原価		4,329,229
売上原価	4,329,229	
売上総利益		973,294,459
販売費及び一般管理費		1,076,411,085
販売費及び一般管理費	1,076,411,085	
営業損失		103,116,626
営業外収益		30,440,104
受取利息	18,773	
受取配当金	810,600	
雑収入	29,610,731	
営業外費用		7,040,181
支払利息	6,999,563	
雑損失	40,618	
経常損失		79,716,703
特別利益		1,500,000
固定資産売却益	1,500,000	
税引前当期純損失		78,216,703
法人税、住民税及び事業税		3,110,000
当期純損失		81,326,703